

(1) 実施機関名：

国土地理院

(2) 研究課題（または観測項目）名：

（和文）測地学的手法によるプレート境界の歪みの蓄積・解放の把握手法の高度化

（英文）Advancing evaluation methods for monitoring strain accumulation/release at plate boundaries by geodetic methods

(3) 関連の深い建議の項目：

6 観測基盤と研究推進体制の整備

(1) 観測研究基盤の開発・整備

イ. 観測・解析技術の開発

(4) その他関連する建議の項目：

5 分野横断で取り組む地震・火山噴火に関する総合的研究

(2) 首都直下地震

(5) 令和5年度までの関連する研究成果（または観測実績）の概要：

非定常地殻変動に基づくプレート境界上の長期的ゆっくりすべりの推定を行い、日向灘南部、豊後水道、四国中部、紀伊水道、志摩半島、東海地方で長期的SSEを検出した。

(6) 本課題の5か年の到達目標：

海溝型地震の素過程である歪みの蓄積過程・解放過程について、大地震後の余効変動の補正、高頻度で発生する短期的スロースリップの補正等の課題を解決しつつモニタリングを実施し、日本のプレート境界の広域にわたって歪みの蓄積・解放過程を明らかにする。

(7) 本課題の5か年計画の概要：

電子基準点データを用いてプレート間のすべりの推定を継続的に実施し、ゆっくりすべり等のプレート間で発生する現象を適時的に把握する。あわせてプレート間すべりの推定において課題となっている、大地震後の余効変動の補正の適用、高頻度で発生する短期的スロースリップの補正の適用など、手法の改良を行う。

(8) 実施機関の参加者氏名または部署等名：

地理地殻活動研究センター地殻変動研究室

他機関との共同研究の有無：無

(9) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署名等：地理地殻活動研究センター 研究管理課

電話：0298645954

e-mail：gsi-eiss+3@gxb.mlit.go.jp

URL：https://www.gsi.go.jp

(10) この研究課題（または観測項目）の連絡担当者

氏名：宮原伐折羅

所属：地理地殻活動研究センター